

# 東総工 PTA 会報

PTA広報委員会  
事務局  
旭市鎌数字川西5146  
TEL 0479 (62) 2522  
FAX 0479 (62) 4425  
平成26年6月7日発行



## 「座右の銘」

PTA会長  
高橋 豊



## 東総工業ブランド を育む!

校長  
木内和夫

今から35年程前にテレビドラマ「3年B組金八先生」というのがあった。第1回目の放送が始まった時に、ちょうど同年代だった私はこの番組に相当に影響された。金八先生がよく言う。彼も人なり、我も人なり。が私の座右の銘である。彼も私も同じ人間なのだから、誰だって同じ様な事が出来る!だから努力しないといけない!どんなに偉い人でも同じ人間なのだから出来ない事はない!と言う意味である。今になって思ったことがまだある。高校生活でも社会生活でも世界でも同じ事だが、全員が同じ人間なんだと言う事。親と子供、先生と生徒、上司と部下、経営者と労働者など色々あるにせよ、同じ人間なんだから、上下関係をきちんと意識して、どんな相手にも人としての敬意を持って接しないといけない。

い。それが自分を成長させるし、成功の第一歩なのではないか。新人の時は、不安と緊張で色々なアドバイスを受け入れる柔軟さがあるが、年を積み重ねる度に柔軟さが消えうせ、偉そうにしてみたり他人を見下すようになってしまふ。そうしている自分を、必ず誰かがどこかで見ており評価されている事を忘れないでもらいたい。そして誰からも信頼され、愛され、敬意をもたれる人となって下さい。成功するために努力を惜しまないで下さいね、お願いしておきますからね。

保護者の皆様におかれましては、日々PTA活動への多大なる御協力を承り、厚く御礼申し上げます。平成26年度新役員一同オンラインワンのPTA目指して参りますれば、これから1年間よろしくお願いいたします。

PTAの皆様には、日ごろから本校の教育活動に対し、深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成二六年度の幕開けにあたり、まず生徒の皆さんに私からの願いと希望を込めて、三点のお話をいたします。

私が君たちに願い、期待するのは、先ず君たち自身が幸せに生きてほしいということです。同時に他人の幸せのために寄与してほしいということです。

これらは、平行する二つのものではなく、究極では一致するものだろうと思います。人間は他人の不幸を眼前にしながら、自分だけが幸せになることは出来ぬ存在です。少なくとも君たちには、そう感じる人間に育ってほしいと思います。

詩人の宮澤賢治の初期の作品に「氷と後光」という習作があります。これは若い夫婦が赤ちゃんを連れて、夜汽車で、北の方に旅する短い物語です。最後の場面では、明け方の光が窓の外の氷を輝かせ、その光は赤ちゃんにも差します。父親は、その赤ちゃんを見ながら、この子が大きくなって、「あらゆる生物のために、無情菩提を求める」人間になってくれることを祈ります。人間だけでなく、命あるすべてのものに尽くすこととです。こんなことを、君たちの心の底にしまっておいてください。

二つ目のお話です。社会では、今年の新社員を「自動ブレーキ型」と呼ぶそうです。「何事も安全運転、壁や障害物を感知して未然に止まる」という意味があるそうです。

みなさんも御存じのタイガーウッズに、「届かないパットは、絶対にカップインしない。」という言葉があります。

自分自身が途中で止まるゴルフ球であつてはつまらない。どうかみなさんには、失敗を恐れず、新しいことにどんどん積極的にチャレンジする高校生活を送っていただきたいと思ひます。

三つ目のお話です。君たちの中には、必ずしも第一希望ではなく、本校に来た者もいること

でしよう。まだ、喜びいっぱいになれない人もいますでしょう。しかし、人生は何が幸せになり、何が禍になるかはわかりません。「禍福はあざなえる縄のごとし」です。

また、人生が自分の希望どおりになるということはあり得ません。常に考えられた予定どおりの道を歩くなどということもありません。さらに、現実というものは常に厳しく、不満を抱くことも少なくありません。

しかし、不満を抱き、嘆いていても仕方がありません。現実をプラスに転化することです。本校に入学したことをよかつたと思えるような努力をしてください。これは第一希望で来た諸君も同じです。自分の努力を欠けば、本校に来たことを後悔するようにもなるでしょう。

本校には、君たちの努力に値するものがあるし、先生方も君たちを精一杯導き、支えてくれるはずで。

打ち振るう 雲雀の羽の  
宙に浮き

沢木欣一という人の俳句です。明るく暖かな春の日。空でさえも明る雲雀。その若い雲雀の羽を透き通る日の光。そんな光景をイメージしてみてください。

君らは皆、若くて元気な雲雀です。東総工業高校という空間で、更に、広く、高く、世界に

羽ばたいていってください。  
君たちが、この東総工業高校で、楽しく豊かな三年間を送ってくれることを祈念いたします。最後に、保護者の皆様に対しまして、本校の今年度の学校経営方針を申し上げたいと思えます。

本校は企業からも大学等からも大きな期待をされています。卒業と同時に社会で即戦力として活躍できる人材の育成、言うならば東総工業高校卒業生ならば「安心」と思っていただけ「東総工業ブランド」を更に確

## 母校の歴史



同窓会長  
加瀬義夫

新入生を迎え創立五十二年目の学校生活が始まりました。

昭和三十八年旧近隣三市十二町の市・町長や関係者の方々が県にお願いをし、東総地区唯一の工業高校として開校し、先輩・諸先生方・地域の皆様にご支え育てられてきました。半世紀を超え改めて母校の歴史を感じてもらいたいと思います。

高校生活で「早く大人になれ」。学業はもとより社会人となる基礎を身に付けてください。体力・まわりの人々への接し方・

立していきたいと思えます。

そのためには、高い技術力と幅広い教養を有する人材の育成を、全職員一丸となつて進めて参ります。御理解御協力をよろしくお願いいたします。

### ※今年度の新たな取組

全ての生徒に対し、工業高校で学んだ貴重な経験を、俳句や短歌に表現して、社会に発信することを計画しています。

保護者の有志の皆様対象では、校長主催の読書会もしくは古典講読会を計画しています。振るってご参加くださるようお願いいたします。

言葉づかい・責任のある行動です。大人になつたとは年齢や自分で決めることではなく周囲の人が評価・認めてくれることです。文化や運動部・クラスにおいて多くの友人をつくり、楽しい思い出多き高校生活を送ってください。

## 新1学年の先生より

一学年主任 植田昌志

お子様が入学し、二ヶ月近くが経ちました。保護者の皆様にはお忙しい中、多数参列していただき、無事入学式を終えることができましたことを深く感謝申し上げます。私としましては、



一 学 年 職 員

学年主任として初めて入学式でしたので、感慨も一入です。

例年に比べ若干少ない一九三名ですが、教室や廊下にいる生徒たちの様子を見る限り、エネルギーが溢れており、数の少なさを感じることはありません。気が早いと言われるかもしれませんが、この一九三名全員、皆笑顔でこの東総工業高等学校を巣立っていただくことを願うばかりです。

高校の三年間は、長い人生の中ではほんの一時かもしれませんが、その後の人生を大きく左右するものでもあります。卒業

後就職する者、上級学校に進みさらに学問を究めようとする者など様々です。高校では生徒たちの夢が叶うよう、職員一同全力で指導して参ります。しかし、夢を実現させるためには、生徒本人の気持ちが大切です。夢が夢で終わってしまわないよう、実現できる目標をその都度立て、その目標を達成しつつ、夢にたどり着いて欲しいものです。与えられたことをただこなすのではなく、自ら考えそれに向かつていく力を身に付けてもらいたいと考えています。

保護者の皆様にお願い申し上げます。お子様が夢を叶えるためには本人の努力が不可欠です。しかし、気持ち揺れ動く時期でもあります。御家庭で折に触れて話をして下さい。一番身近にいる人生の先輩としてアドバイスをしていただきました。言えは言ったで「うるさい」と言われたり、何も言わなければ「親は何も言っていない」と言われたりしてしまふのですが……。

保護者の皆様の御理解と御協力を得て、生徒たちが成長できるように取り組んで参りたいと思えますので、よろしくお願ひ申し上げます。

MI担任 城 弘幸

入学おめでとうございます。

新入生と同じく今年度から東総工業高校へ赴任し期待と不安の中での、一学年担任がスタートしました。入学式当日、新入生を迎えるため早めに教室で待機していたところ多くの生徒が挨拶もせず教室へ入っていく姿がありました。不安と緊張で胸一杯の生徒を見て新入生の担任を担当する責任感が改めて感じられた瞬間でした。こちらから声をかけると以前勤務していた頃の東総工業高校の生徒らしく明るく元気な返事が返ってきました。

初めてのホームルームで自己紹介をした時、感じた電子機械科生徒の第一印象は気の良い生徒の集まりだということでした。クラスでの生徒の反応も良く楽しいクラスになると感じうれしく思いました。

学校生活は社会の縮図と言われます。この縮図の中で生徒にいかにも多くの経験や失敗をさせるかが担任に課せられた課題であると思つています。生徒のみならず、私自身も生徒と共にこの課題に取り組み、共に成長していきたいらと考えております。楽しいだけのクラスではなく、卒業を視野に入れた態度と行動がとれるクラスになるように頑張っていきます。よろしくお願ひいたします。

E1A担任 平野可奈子

皆さんが東総工業高校に入学してから一ヶ月が経ちました。教室の雰囲気や皆さんの表情から、少しずつ緊張も解け思っているの学校生活を送り始めたように感じます。

さて、皆さんは入学式の時に提出してくれた作文について覚えていきますか。読んでいくと、勉強を頑張りたい、資格をたくさんとりたい、部活動で良い成績を残したい、など高校生活の夢や目標が力強く書かれています。そしてほとんどの作文に「今までの自分を変える/変えたい」という意志や決意があり、とても印象に残りました。

ですが自分を変えるということは決して簡単なことではありません。きっと皆さんの中にもその難しさを感じている人がいると思います。(そう簡単に変わる事ができたら誰も苦労しませんし、作文にも書きませんからね。)前と変わらず同じ失敗を繰り返す自分にいらだつた時には嫌になって投げ出した...という事が過去にあったかもしれません。そこで皆さんに一つお願いしたいことがあります。それは、どんなに小さなことでもいいからまずは行動してみる、ということ。毎日5分間でもいい

から漢字を覚える時間を作る、資格について先生に相談してみる、部活動では積極的にアドバイスをもらいにいく、など小さなことから始めてみましょう。

ほんの少しの行動でもそれは自分を変える大きなきっかけになります。もちろんすぐに変化があるわけではありません。小さな行動からきっかけを掴み、それが積み重なることで新しい自分が作られるのです。

高校は心がけ次第でどこまで成長できる場です。行動を起こす勇氣を持ち、時には作文に書いたことを思い出しながら充実した三年間を送ってください。

E1B担任 小高正久

夢と希望を胸に入学し、はや二ヶ月が経ちました。東総生としての高校生活はいかかですか。中学校とは異なり、様々な地域から通学している友達とも、親交を深めている頃だろうと思います。

初めて勉強をする工業科目は楽しいですか。国語、社会、数学、理科、外国語を教えてくれる塾はありますが、工業科目を教えてくれる塾はありません。授業でしっかり理解をして欲しいと思います。そして、資格取得に励み、是非、その道のスペシャリストになって下さい。また、勉強以外にも、部活動

も頑張ってみてはいかがですか。部活動をとおして、学べることもたくさんあります。チームメイトと切磋琢磨しあいながら、忍耐力、精神面などが鍛えられ、人として大きく成長することが出来るからです。これらのことは、社会に出てからも役に立つことばかりです。

最後に、三年間の高校生活が有意義になるように願っています。

I1担任 清崎起代則

入学おめでとうございます。今年のI1は、東総工業高校で一番生徒が多いクラスになりました。入学式から二カ月が経過し、皆、高校生活にも慣れてきたようです。

小学校・中学校と違い、高校は離れた地域から、同じ目標を目指すヒトが多く集まる学校です。そのため、高校時代の友達は卒業後も友達でいることが多いです。私の故郷は大阪ですが、今でも帰省の度に高校時代の友達と会います。

私は工業高校の「電子情報科」を卒業しました。ほぼ、本校「情報技術科」と同じカリキュラムです。コンピュータが大好きで、高校卒業後にシステムエンジニア(SE)をやっていました。今は学校で教える立場にいます。私の高校時代から今でも「情

報技術(I1)」に携わっていますが、新聞やテレビのニュースで毎日話題に挙がる通り、今後も「情報技術」は社会で重要な位置に占めることになると考えています。

情報技術科で「情報技術」を自分のモノにしてください。

P1担任 高旨清仁

建設科1年生の皆さん、入学おめでとうございます。

皆さんは「工業高校って何を学ぶの?」どんな資格が取れるの?・部活動は何に所属しようかな?・テストは難しいの?・製図書けるかな?」など、きつと様々な期待と不安を抱いた高校生活がスタートしたと思います。

入学後の東総工業高校建設科の印象はいかがでしたか? (せっかくですから少し建設分野について触れてみましょう)

これから皆さんが勉強する建設分野は、(土木工学と建築学)良質な生活空間の構築を目的として、自然災害や社会基盤の整備のための技術(土木技術)について学び、またローマ時代の建築家ウィトルウィウスは、建築にとって重要なこととして「強」・「用」・「美」の3点を上げています。(詳しくは授業を

お楽しみに!!)このようなことから建設分野は地球をキャンパスにし、豊かな想像力で魅力的な都市のすがたを自由に描くことができる楽しさがあります。これからの3年間、おおいに皆さんのイマジネーションを發揮して構いませんよ。

さて、皆さんが入学した東総工業高校は部活動以外にも、文化祭・スポーツ大会・インターシップ・実務施工体験・高大連携・ボランティア活動・資格取得と様々な活動が充実した学校です。

そこで、私はこのような活動を通して、「学校の勉強と社会が繋がっている」「今と未来が繋がっている」ことを再確認し、是非!東総工業高校を人生の物語を作る場所・夢を叶える道案内をしてくれる場所として、何事にもチャレンジし、皆さんに有意義で有益な3年間を送っていただきたいと思っています。

さあ!P1のみんな「授業開始のチャイムが鳴っているぞ!」身だしなみを整え、心を引き締め、目を輝かせ教室の椅子に着席しよう☆

